

## NPO 法人日本ネイリスト協会 平成23年度通常総会開催のご報告

NPO 法人日本ネイリスト協会(東京都千代田区/理事長:滝川晃一/以下 JNA)は、下記のとおり平成23年度通常総会を開催いたしましたのでご報告いたします。

本総会は、議決権者 3,464 名(平成23年3月末日現在の正会員数:個人 3,079 名、法人 385 社)のうち、157 名の出席があり、事前の議決権委任者 1,883 名と合わせて議決権者の過半数となりましたので、定款27条の定めにより成立しました。

本総会において平成22年度の事業報告と決算報告・監査報告、および平成23年度の事業計画案と予算案が承認されました。

### 記

日 時:平成23年6月27日(月) 15:00~16:30

会 場:ザ・キャピトルホテル東急「鳳凰」

### <式次第>

- 1 開会の挨拶
- 2 議長団・議事録署名人選出
- 3 議案審議  
第1号議案 平成22年度事業報告承認の件  
第2号議案 平成23年度収支決算報告及び監査報告承認の件  
第3号議案 平成23年度事業計画案承認の件  
第4号議案 平成23年度予算案承認の件
- 4 閉会の挨拶



※ 理事長・滝川晃一による開会の挨拶は別添の参考資料をご参照ください。

なお、総会終了後には、同会場にて懇親パーティーを開催しました。関連団体代表者など多数のご来賓を含めて200名を超える方々にご出席いただきまして、大変盛況でした。



—本件に関する問い合わせ先—  
写真素材等、データがご入用の場合もお問い合わせください。

NPO 法人日本ネイリスト協会(JNA) 事務局 広報:坂井  
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-3 赤坂東急ビル 5F  
[TEL]03-3500-1580 [FAX]03-3500-1608  
[URL] <http://www.nail.or.jp/> [e-mail] [press@nail.or.jp](mailto:press@nail.or.jp)

<参考資料>

特定非営利活動法人日本ネイリスト協会

## 平成 23 年度（第 6 回）通常総会 挨拶

理事長 滝川晃一

本日は大変お忙しい中、平成 23 年度通常総会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。  
また、平素は当協会の運営に対しまして深いご理解とご協力を賜っていますことを重ねて御礼申し上げます。

去る 3 月 11 日の東日本大震災によりまして、亡くなられた方あるいは被害に遭われた方には、心よりお悔みとお見舞いを申し上げたいと存じます。

当協会は昨年創立 25 周年を迎えまして、盛大に記念行事を催すことができました。これもまた皆さま方の温かいご支援の賜物と感謝申し上げる次第でございます。

当協会の創立以来 25 年間、ネイル業界も成長の過程をたどってまいりました。しかし最近、皆さま方のお話をお訊きしますと、「成長期から成熟期」に差し掛かったのではないかとも言われています。つまり、今までとは違ったいろいろな形での業界の環境を言われているのではないかと思います。

毎年、若い世代の方々がネイルを楽しみファッションとして受け入れる年齢層になりますと、一挙にネイル人口として参入して頂いております。しかしながら少子化の時代でございますので、先行き大きな期待が持てないことは必定で、将来に向けて考えなくてはならない課題です。

そこで私が考えますのは、全業界あげて、ネイル人口を掘り起こす意味で、団塊世代の方々にネイルというものを普及する努力を重ねるべきではないかということです。

団塊の世代と云いますのは戦後のベビーブーム時代（1947～1949 年）に生れた方たちのことで、人口が最も多いことは周知の通りでございます。この中の多くの方々が身近な感覚でネイルを楽しんでいらっしゃるとは考えにくく、全国的に見ても 10%にも満たないのではないかと思います。我々はこちらに照準を合わせまして、皆さま方が口紅を塗るような感覚で、爪にファッションを施すというようなどころまで広げていきたいと思っております。

身だしなみとしてネイルを使う層の、すそ野が広がれば広がるほど、大きな需要が増すものと思えます。富士山はすそ野が広いから高いのでありまして、私どもは派手なところだけを追求するのではなく、身だしなみという中でネイルを取り入れて頂けるような、そういうところにも焦点を合わせていきたいと考えております。

この方々は非常に慎重で、衝動的な行動に走ることはございませんし、ネイルについても周りを気にしながら試すのではないかと思います。団塊の世代層を掘り起こすためにも、“ネイルサロンの安全・安心”に、より一層力を入れて行かなければならないと考えております。

ご承知の通り、昨年から当協会ではネイルサロンの衛生管理、そして確かな技術に裏づけられた“安全と安心”をキーワードに、お客さまに満足いただける「JNA認定ネイルサロン」制度を設けており、これを普及していかなければならないということで、今年度は3,000サロンを目標に力を入れて行こうとしています。

この制度はスタートして間もないことから、現在「JNA認定ネイルサロン」の登録は500サロンに満たないところではございますから、今年度中に3,000サロンは無理かもしれませんが、とにかく「JNA認定ネイルサロン」の普及活動を全国的に広げていくことによって、団塊の世代の方々にとっても、ご自分の身だしなみの位置づけとして、ネイルは普及していくものと期待している次第です。

経済環境は、東日本大震災に端を発して原発の問題などがいろいろ影響を及ぼし、我々の業界にも影響があることは予想されますが、NPO法人日本ネイリスト協会がネイル産業の発展のために一丸となって進んでいくということについては、皆さま方の期待を裏切ることにはないと確信いたしております。

このことについては、これから発表する来年度の事業計画の中からもご理解いただけたと思いますし、JNAを運営する12委員会の各委員長の発表の中からもご推察頂けるものと思う次第でございます。

この総会が終わりますと間もなく、大阪で『アジアネイルフェスティバル in 大阪』、また11月には『東京ネイルエキスポ』と続いております。これも皆さまの絶大なバックアップの元、ネイル産業が一般へ普及することへの大きな弾みになることを期待しているわけでございます。

本日はいろいろな審議事項のなかでも前向きな審議事項があります。どうか皆さまも熱心に討議に参加していただき、できれば皆さま方には原案をご承認いただき、恙なく総会が終えられることを心から念じてご挨拶に代えたいと思います。

平成23年6月27日